

相談・支援体制の整備【鳥取県】

個別事業費	528 千円
交付金額	264 千円

地域の実情と課題

不安や困難を抱える女性からの相談内容は多様化しており、これに適切に対応するため、相談支援業務の質の向上を図るとともに、不安や困難を抱える女性に対して支援活動を行う団体や関係機関との連携を強化し、適切な支援機関へ繋ぐ必要がある。

事業の特徴

相談業務に従事している者等を対象とし、実際の相談業務で直面する相談者の課題に着目して、相談者が抱える生きづらさなどについて対応できるよう専門知識を身につけることができるセミナーを実施する。また、不安や困難を抱える女性を対象として、支援が必要な人に支援制度等の情報を届け、相談窓口にしっかり繋げ、サポートするため、民間の発想、専門性、経験を活かした支援事業を行う。

事業の効果

子育てや子どものいじめの問題、知人や家族間のトラブル、就業や生活の苦しさなど、様々な悩みについて、公的な機関ではなかなか相談や支援に繋がりにくい方からの相談に対応する窓口としての役割を果たすことが出来た。

目的・目標

多様化する相談内容に対し適切な支援へ繋げるとともに、真に支援が必要な不安や困難を抱える女性を適切な機関へ繋げるため、女性支援団体や関係機関との連携強化、男女共同参画の視点を踏まえた相談業務の質の向上を目指す講座の実施などにより、支援体制の充実・強化を図る。

- 男女共同参画センターにおける相談件数
1,889件 ※目標値2,000件
- 相談スキルアップ講座への参加人数
88名 ※目標値100名

連携団体

- ・DV、性的マイノリティ、外国人、ひとり親等、各種相談・支援機関
(社会福祉法人鳥取いのちの電話、鳥取県性暴力被害者支援協議会 等)
- ・ネットワーク構築(学びのサロン)
- ・県内市町村(男女共同参画担当)

今後の課題

今後も社会情勢等を踏まえながら、現場のニーズに合致した内容の講座を実施する必要がある。

事業の概要

(1) 相談スキルアップ講座の開催

相談業務に従事している者及び講座の内容に関心のある者等を対象とし、実際の相談業務で直面する相談者の課題に着目して、相談者が抱える生きづらさなどについて対応できるよう専門知識を身につけることができるセミナーを実施した。

・第1回

開催日: 令和6年7月11日(木)

テーマ: 「トラウマインフォームドケア①」～トラウマインフォームドケアとは～

講師: 細田(アーバン) 珠希 さん(鳥取大学大学院医学系研究科 教授) 参加人数: 31人

・第2回

開催日: 令和6年7月18日(木)

テーマ: 「トラウマインフォームドケア②」～相談支援場面での活用～【演習あり】

講師: 細田(アーバン) 珠希 さん(鳥取大学大学院医学系研究科 教授) 参加人数: 30人

・第3回

開催日: 令和6年9月5日(木)

テーマ: 「サイコドラマ」～こころとからだに耳を澄ます～【体験型ワークショップ】

講師: 浦木 恵子 さん(臨床心理士) 参加人数: 27人

(2) 不安や困難を抱える女性支援ツナゲル事業

不安や困難を抱える女性を対象として、支援が必要な人に支援制度等の必要な情報を届け、相談窓口にしっかり繋げ、サポートする取組などを民間の発想、専門性、経験を活かした事業を県内で活動する県民の団体・グループに実施を委託し、支援を行った。

【まどぐちカフェ事業】

○県内で営業するカフェをはじめとする飲食店(協力店)等を気軽な相談窓口として活用する取組として実施。協力店から連絡を受けた受託団体の相談員が協力店と連携して相談者の悩みごとに相談対応することによって、これまで公的な相談機関での相談や支援に繋がりにくかった相談者を相談支援し、必要な支援に繋げる。

実施回数: 計125回